

広島県商工労働局補助金等審査会 環境・エネルギー産業集積促進部会 議事要旨

広島県商工労働局補助金等審査会  
環境・エネルギー産業集積促進部会

1 書類審査について

(1) 会議の概要

開催日時	令和6年5月23日(木)
開催方法	書面
出席委員	大学教授：3名、県職員：3名
議題	令和6年度 広島県環境・エネルギー産業集積促進事業補助金
担当部署	商工労働局イノベーション推進チーム環境関連産業海外展開グループ

(2) 審査基準及び結果等

申請のあった12件を対象として書類審査を実施した。委員の評価点の平均が高い上位10件をヒアリング審査の対象事業として選考した。

	評価項目				合計	平均	選考結果	
	採択基準 (適・否)	申請者の 新規性	社会的な 意義	ビジネスモデル の妥当性				
配点	適・否	30	30	120	180	30		
申請者	A	適	30	23	83	136	22.7	ヒアリング対象
	B	適	30	25	82	137	22.8	ヒアリング対象
	C	適	30	16	73	119	19.8	ヒアリング対象
	D	適	6	23	80	109	18.2	ヒアリング対象
	E	適	18	15	74	107	17.8	ヒアリング対象
	F	適	30	17	80	127	21.2	ヒアリング対象
	G	適	30	23	74	127	21.2	ヒアリング対象
	H	適	10	22	77	109	18.2	ヒアリング対象
	I	適	8	22	84	114	19.0	ヒアリング対象
	J	適	10	23	74	107	17.8	ヒアリング対象
	K	適	30	16	54	100	16.7	選外
	L	適	30	16	48	94	15.7	選外

委員からは次のような意見があった。(選外事業)

申請者	意見
K	事業計画書の記載が不十分である。独自性が見られない。
L	単なる設備導入であり、製品・事業開発の余地が認められない。

2 ヒアリング審査について

(1) 会議の概要

開催日時	令和6年5月30日(木)
開催場所	広島県庁本館 R5 会議室
開催方法	対面でのプレゼンテーション審査
出席委員	大学教授：3名、県職員：3名
議題	令和6年度 広島県環境・エネルギー産業集積促進事業補助金
担当部署	商工労働局イノベーション推進チーム環境関連産業海外展開グループ

## (2) 審査基準及び結果等

書類審査を通過した 10 件を対象としてヒアリング審査を実施した。採択基準を満たし、委員の総合点の平均が高いものから順に、予算額の範囲内で補助採択候補事業として 6 件を選定した。

	評価項目					評価点		加点項目	合計	採択予定	
	採択基準(適・否)	申請者の新規性	社会的な意義	事業化の実現性	開発能力	計	平均				
配点	適・否	30	30	330	330	720	120	6	726		
申請者	A	適	30	24	229	230	513	85.5	0	513	○
	B	適	30	25	242	240	537	89.5	6	543	○
	C	適	30	16	215	204	465	77.5	0	465	○
	D	否(※)	6	23	203	197	429	71.5	6	435	
	E	否(※)	18	15	187	202	422	70.3	6	428	
	F	適	30	23	241	248	542	90.3	6	548	○
	G	適	30	23	222	230	505	84.2	0	505	○
	H	否(※)	6	22	184	173	385	64.2	6	391	
	I	適	8	23	234	250	515	85.8	6	521	○
	J	否(※)	10	23	191	222	446	74.3	0	446	

(※) 審査要領において選外と定める下記基準のいずれかに該当する。

- ・評価項目「社会的な意義」、「事業化の実現性」又は「開発能力」のうち、同一項目について委員 2 名以上が「不可」と評価した案件。
- ・評価点の平均が満点の 6 割 (72 点) に満たない案件。

委員からは次のような意見があった。

申請者	意見
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・量的な問題はあるが、廃品のリサイクルの一步として取り組むもので評価できる。</li> <li>・技術的課題に対する不安要素は残るが、独創的であると思われる。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーキュラーエコノミーに資する点を高く評価する。</li> <li>・協力他社の技術等に依存する部分が多い点は懸念する。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の未利用(廃棄)資源の活用等、社会課題を解決するもので評価できる。</li> <li>・実現させるためにはより詳細な検討が必要と考えられる。</li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に採択した事業の継続的内容である(新規性に劣る)。</li> <li>・独自性がやや劣る。</li> </ul>
E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場への効果が不透明であることや自社のコストカットが目的と思われることから、ビジネス拡大が期待できない。</li> <li>・AIに関する開発が、本補助金の趣旨と合致しているか疑問である。</li> </ul>
F	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル可能な素材に変更することにより環境配慮に資する点を高く評価する。</li> <li>・大きな市場規模ではないが、堅実な売り上げが見込まれる。</li> </ul>
G	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題は多いが、今後需要が見込まれる分野であり、新たな取組として開発の価値が認められる。</li> <li>・背景となる技術の準備が整っている点が評価できる。</li> </ul>
H	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究開発項目が曖昧な印象を受ける。</li> <li>・過去に採択した事業を含め、産学連携が有効に機能しているのか疑義がある。</li> </ul>
I	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実用的な技術である点を高く評価する。</li> <li>・海外行政機関を巻き込み、現地にカスタマイズされた技術の提供であり、今後の市場拡大が期待できる。</li> </ul>
J	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表事業者の主体性が見えない。</li> <li>・経費の用途から、補助の必要性が薄い。</li> </ul>